

公益財団法人あいちコミュニティ財団「セオリー・オブ・チェンジ2020」(事務局案)160605 ※2020年までの問題解決の仮説

| 目標(Goal) 【2025年を想定】 | 目的(Objectives) | 事業(Activities) | 結果(Output) 【毎年を想定】 | 成果(Outcome) 【毎年を想定】 | 影響(Impact) 【2020年を想定】 | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|--|---|---|---|--|
| | | | | 事業に関わる 「人」や「組織」の 意識や行動の変化 (NPOの組織基盤を強化) | 「地域」や「社会」の 変化 (安心できる 地域の未来を創造) | | | | | |
| <p>(団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年までに) 「子ども」「大人」「シニア」の各当事者を地域で支え切るロールモデルが、「海部」「尾張」「知多」「名古屋」「西三河」「東三河」の各地方に育まれている 【計18団体】</p> | <p>【「資源提供者(市民)」に対して】 1. “成果志向”の市民を育む</p> | <p>(1)愛知県内の地域課題を「見える化」する</p> | ①情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ●フェイスブック:「いいね！」3,000(2015年度:「いいね！」2,131) ●メールマガジン:登録者3,500名(2015年度:登録者2,391名) | <ul style="list-style-type: none"> ●寄付者へのアンケート:「寄付の動機」の回答で「毎年のことから」が16%(寄付白書2015:29.7%) | <p>(愛知県全体の人口が減少に転じる2020年までに) 「子ども」「大人」「シニア」の各当事者を地域で支え切るロールモデルが、愛知県内に育まれている 【計3団体】</p> | | | | |
| | | | ②場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●食事会:10回、参加者20名/回、満足度90点/回(2015年度:5回、参加者24名/回、満足度92点/回) ●「ワガコ」サロン:6回、参加者30名/回、満足度90点/回(2015年度:2回、参加者24名/回、満足度84点/回) ●支援先訪問ツアー:3回、参加者15名/回、満足度90点/回 | | | | | | |
| | | <p>(2)その解決に挑む市民公益活動を推進する団体等の認知度を高める</p> | ①伴走支援(ボランティア) | <ul style="list-style-type: none"> ●あいちの課題を深掘りするボランティアスタッフ「モグラ」:25名(2015年度:25名) ●NPOの“志金”調達を応援するボランティアスタッフ「フレンドレイザー」:25名(2015年度:16名) ●助成事業の「物語」をつむぐボランティアスタッフ「ツムギスト」:20名(2015年度:8名) ●子どもの問題の普及啓発に取り組むボランティアスタッフ「ママボノ」「パパボノ」:15名(2015年度:12名) | <ul style="list-style-type: none"> ●1人あたりのボランティア時間数:12時間/月(2015年度:8時間/月) ●ボランティア継続率:30%(2015年度:22%) | | | | | |
| | | | | <p>(3)活動に必要な資金等の地域資源の循環を推進する</p> | ①資金支援(寄付) | | <ul style="list-style-type: none"> ●賛助会員:会員数170名、継続率84%(2015年度:会員数150名、継続率72%) ●事業指定プログラム「ミエルカ」:寄付総額5,000,000円(5団体)(2015年度:2,963,434円、3団体、711名) ●あいち・なごや子どもとつくる基金:寄付総額1,200,000円(個人のみ)、継続率50%(2015年:992,584円、146名、継続率不明) ●あいちの課題深掘りファンド:寄付総額900,000円、300名(2015年:702,000円、208名) ●「0~100歳のまちづくり」知多地域たすけあい基金:寄付総額1,800,000円 | <ul style="list-style-type: none"> ●1人あたりの寄付総額:10,000円(2015年度:7,470円) ●寄付継続率:50%(2015年度:28.8%) | | |
| | | | | | | | <p>(1)愛知県内の地域課題を「見える化」する</p> | ①情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ●あいち「見える化」ウェブ:地域課題掲載数20件(2015年度:地域課題掲載数14件) ●あいちの課題深掘りBOOK:発行部数2,000部(2015年度:発行部数2,000部) | <ul style="list-style-type: none"> ●メディア掲載:24件(支援先を含む)(2015年度:22件) |
| | | | | | | | | | ②場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●「あいちの課題深掘りBOOK」を読む会:2回、参加者30名/回、満足度90点/回(2015年度:2回、参加者18名/回、満足度94点/回) |
| | <p>【「市民公益活動団体(NPO)」に対して】 2. 寄付を集める力をつける</p> | <p>(2)その解決に挑む市民公益活動を推進する団体等の認知度を高める</p> | ①場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●寄付の教室:参加者30名、満足度80点 ●最終(公開プレゼンテーション)選考会:4回、参加者20名/回、満足度90点/回(2015年度:3回、参加者8名/回、満足度93点/回) ●事業報告会:3回、参加者20名/回、満足度90点/回(2015年度:5回、参加者30名/回、満足度88点/回) ●成果報告会「モチヨリ」&地域円卓会議:3回、参加者50名/回、満足度90点/回(2015年度:1回、参加者48名/回、満足度94点/回) ●周年記念イベント「イロバ」:参加者100名、満足度90点(2015年度:参加者65名、満足度94点) ●ドネーションパーティ:参加者100名、満足度90点(2015年度:参加者46名、満足度88点) | <ul style="list-style-type: none"> ●支援者数が支援終了後に増加している団体数:支援先の84% | | | | | |
| | | | | <p>(3)活動に必要な資金等の地域資源の循環を推進する</p> | ①資金支援(助成) | <ul style="list-style-type: none"> ●あいちの課題深掘りファンド:説明会&相談会20団体→応募10団体→助成3団体、満足度90点(2015年度:説明会&相談会23団体→応募6団体→助成3団体、満足度93点) ●あいち・なごや子どもとつくる基金:説明会&相談会15団体→応募8団体→助成2団体、満足度90点(2015年度:説明会&相談会11団体→応募7団体→助成2団体、満足度92点) ●冠プログラム(1)東海ろうきん傍楽ファンド:説明会&相談会15団体→応募8団体→助成2団体、満足度90点(2015年度:説明会&相談会11団体→応募3団体→助成2団体、満足度88点) ●冠プログラム(2):住友友理工あつたか未来基金:説明会&相談会15団体→応募8団体→助成2団体、満足度90点(2015年度:説明会&相談会12団体→応募5団体→助成3団体、満足度90点) ●「0~100歳のまちづくり」知多地域たすけあい基金:説明会&相談会15団体→応募8団体→助成2団体、満足度90点 ●事業指定プログラム「ミエルカ」:説明会&相談会20団体→応募10団体→助成5団体、満足度90点(2015年度:説明会&相談会18団体→応募4団体→助成3団体、満足度85点) | <ul style="list-style-type: none"> ●寄付収入の絶対額が支援終了後に増加している団体数:支援先の50% | | | |
| | | | | | | <p>(1)愛知県内の地域課題を「見える化」する</p> | ①行政 | <ul style="list-style-type: none"> ●選考委員:100名、うち行政28名(2017-2018年度)(2015-2016年度:61名、うち行政8名) ●“成果志向”の補助・助成金推進会議 in あいち:3回、参加率84%/回、満足度90点/回(2015年度:2回、参加率62%/回、満足度92点/回) ●ソーシャルビジネスサポートあいち:行政9(2015年度:参加機関19、うち行政3) ●応援メッセージ:50名、行政9名(2015年度:9名、行政2名) ●豊田市「市民発!ミライ☆チャレンジプロジェクト」:支援5団体、満足度80点 | <ul style="list-style-type: none"> ●“成果志向”の補助・助成金推進会議 in あいち:3回、参加率84%/回、満足度90点/回(2015年度:行政28(2018年度末)(2015年度:行政10) | |
| | <p>【「資源提供者(法人等)」に対して】 3. 未来から逆算して協働する</p> | <p>(2)その解決に挑む市民公益活動を推進する団体等の認知度を高める</p> | ①士業 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ●遺贈寄付相談センター:遺贈寄付アドバイザー研修2回、登録50名※愛知県弁護士会:会員(弁護士)数1,781名、法人数117法人(2015年7月現在) | <ul style="list-style-type: none"> ●パンフレット配布数:2,000件 | |
| | | | ②中小企業(特に飲食業) | | | <ul style="list-style-type: none"> ●カンパイヤリティ:呼びかけ店舗数の50%(3,500店)(2015年度:呼びかけ店舗数の28%(1,938店)) ●「あいちの課題深掘りBOOK」広告:営業150社一協賛20社(2015年度:営業55社一協賛17社) ●あいち“志金”マルシェ化計画:参加24社 | <ul style="list-style-type: none"> ●募金箱:設置店舗数100店(2015年度:29店) ●寄付つき商品数:日本一(2020年度末)※山口県共同募金会:100社(2016年5月現在) | | | |
| | <p>(3)活動に必要な資金等の地域資源の循環を推進する</p> | <p>①大企業(特に製造業)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●冠プログラム:新規2件(2015年度:新規2件) ●トヨタNPOカレッジ「カイケン」:支援30団体、満足度80点 ●デンソープロボプログラム:支援3団体、満足度80点 | <ul style="list-style-type: none"> ●支援者数が支援終了後に増加している団体数:支援先の84% ●寄付収入の絶対額が支援終了後に増加している団体数:支援先の50% | | | | | | |

※この「Theory of Change」は年に一度見直し、必要に応じて修正する(毎年7月を想定)